

仙台の今、未来への責任！

■発行／仙台市議会議員 野田ゆずる
〒981-3121 仙台市泉区上谷刈3丁目7-29-D103 Tel&Fax 022 (739) 9630

野田ゆずる議会レポート

令和6年第1回定例会報告


<https://www.y-noda.net>
info@y-noda.net

■ご意見・ご要望がありましたらお気軽にお寄せください。



今回の議会レポートは、令和6年第1回定例会報告です。
今定例会では、総額6480億5300万円の2024年度一般会計予算、敬老乗車証の利用者負担割合の10%から25%への引き上げに伴う条例改正案など、議案70件、意見書1件を可決いたしました。

今回のレポートは、私、野田ゆずるが行った一般質問と答弁、予算等審査特別委員会での総括質疑の質問項目、新年度予算の内訳等を記載させていただきました。

是非、一読いただき皆様の仙台市政へのご意見を頂戴したいと考えております。

令和6年第1回定例会 野田ゆずる一般質問より

令和6年度施政方針について

野田 市長は国連のハイレベル会合など、自ら国内外に向けたメッセージを発信し、「防災環境都市・仙台」が高い評価を受けた。さらに、せんだい都心再構築プロジェクト第一号ビルの竣工、市役所本庁舎や定禅寺通再整備など都心まちづくりの着実な進捗とともに、こども財団を設立させ、目指すまちづくりが一挙に動き出したことを実感している。

市長は昨年、第1回定例会での質問に対し、内外から選ばれるまちを目指して、先頭に立って新たな一步を踏み出すと答弁された。まさにその決意が実現した一年ではなかったか。改めて5年度の振り返りのご自身の評価、これからのグローバルな視座に立ったまちづくりにかける市長の意気込みについて伺う。

答弁 令和5年度は、市民や事業者の皆様と進めてきた取組が大きな成果につながった。本市においても人口減少局面が迫り、都市経営が厳しさを増す中、東北大学のサイエンスパークや県内への外資系半導体企業の進出など、本市は国内外の注目を集めている。

本市の持続的成長には、この好機を逃すことなく、グローバルな視座に立ってまちづくりを進め、内外の交流を拡大しながら

創造性を高めることこそ必要と考え、一般の支援方針を示した。

新年度は、地域社会全体による子ども子育て支援の強化など、世界標準のダイバーシティなまちづくりを推し進め、「世界から選ばれるまち仙台」の実現に向けた取組を加速していく考えだ。

持続可能な財政基盤に向けた歳入確保について

野田 歳入確保に関し、税源涵養、受益者負担の適正化を挙げているが、私は、本市が有する施設等において歳入アップの余地があるのではないかと見ている。

一例を挙げると、仙台城石垣災害復旧に当たっては、クラウドファンディングの手法で資金を集め、昨年10月からの約2か月間に800人を超える方々から2千万円もの資金提供をいただいた。

評価する一方で、個々の施設等においても、設置目的や特性を生かし、ユーチューブやインスタグラムなど様々なSNSを活用し、もっと話題性を意識した情報発信をするとともに、ファンを増やして集客や資金獲得を目指すことも可能ではないかと思う。

各局や公営企業に至るまで、歳入を増やす知恵を絞り、努力の積み重ねを徹底する必要があると考えるが如何か。

答弁 新年度予算編成においても、基金からの借入れなどの特例的な収支差対策を講じつつ、また、財政見直しにおいても、義務的経費の増加などにより厳しい財政状況が続く見込みだ。歳出を削減するだけではなく、積極的な歳入の確保が重要な視点である。

今年度の仙台城石垣災害復旧クラウドファンディングの新たな取り組みは、各局区が実施するプロジェクトについても、歳入確保につながる可能性があることを再認識できるよい機会となった。

クラウドファンディングやふるさと応援寄附、本市媒体を活用した新たな広告収入といった民間資金の獲得を充実させるなど、様々な手だてを講じながら持続的な財政基盤の確立に努めていきたい。

仙台圏北部への半導体工場の立地について

野田 JSMCの立地により、本市を取り巻く企業進出や産業集積の動向は大きく変わる。関連企業誘致を含めた今後の企業誘致についてどのように進めていこうと考えているのか伺う。

答弁 大衡村への進出計画は、事業規模がおおよそ8千億円、そして新規雇用者もおおよそ1千人という大規模なもので、本市においても、半導体関連企業の立地や、台湾から技術者の方々、その御家族の皆様方の居住が想定される。

これまでの延長線上ではなく、より幅広い視点での対応が求められており、今後、半導体関連企業の集積を図ることはもとより、全庁的な連携体制の下、新たに本市にお住まいになる皆様の生活環境の整備など、各般の取り組みを強力に推し進めながら、半導体工場立地の波及効果が最大限高まるよう取り組んでいく。



野田 大規模半導体工場の立地を契機とした熊本市の対応について、大いに参考にすべき点がある。どう今後に生かしていくのか伺う。

答弁 熊本市は、民間提案型による工場用地の整備を進め、不足する工場用地を創出し、企業誘致を進めてきた。

今後、経済局が中心となり先進事例である熊本市の状況をしっかり分析しながら、受入れ環境の整備や交通渋滞対策、産業用地の確保など具体的な対策の検討を進めていきたい。

野田 私は、近隣への大規模半導体工場の立地を控えた今こそ、本市も工業団地の造成を促し、本市の持続的な発展の一助とすべきではないかと考え、泉区野村にある泉パークングスマートインターチェンジ周辺地区の開発を提案したいと思うが、如何か。

答弁 泉区野村周辺地域については、大衡村から約20 kmと比較的近く、また、スマートインターチェンジの改修が現在進められているなど、産業用地として高いポテンシャルを有している地区であり、今回のJSMCの進出を受け、関連企業を誘致する上での選択肢の一つになり得ると認識している。

また、昨年、一定の条件下で市街化調整区域における工場等の立地規制を緩和する措置が認められたことも踏まえ、今後、関係部局が連携し、関係者の意向の把握などを行いながら、工業系用地としての可能性を探っていきたい。

2024年2月 河北新報朝刊に掲載

仙台・泉スマートIC周辺 半導体関連「誘致候補」
 仙台市、用地活用探る方針

仙台市議会2月定例会は21日、本会議を開き、一般質問を続けた。高橋新悦副市長は大衡村への半導体工場進出に絡み、東北自動車道スマートインターチェンジ（IC）のある泉区野村地区を「産業用地として高いポテンシャルがある。関連企業を誘致する選択肢の一つになり得る」との認識を示した。野田議員（自由民主党）の質問に答えた。泉スマートICは大衡IC（大衡村）の南約18キロ、車で約15分の距離に位置する。政府が昨年、農地など開発が制限される「市街化調整区域」で、半導体などの製造工場の建設を例外的に容認したことも踏まえ、高橋副市長は関係者の意向を把握し、工業系用地の活用可能性を探ると述べた。

柳津英敏経済局長は半導体関連企業の誘致に向け、部局の垣根を越えた体制を構築する方針を明らかにした。半導体大手が周辺に進出する熊本市の取り組みを参考に、外国人技術者と家族の受け入れ環境整備、交通渋滞対策、産業用地の確保などについて検討する見通し。

トICは大衡IC（大衡村）の南約18キロ、車で約15分の距離に位置する。政府が昨年、農地など開発が制限される「市街化調整区域」で、半導体などの製造工場の建設を例外的に容認したことも踏まえ、高橋副市長は関係者の意向を把握し、工業系用地の活用可能性を探ると述べた。

柳津英敏経済局長は半導体関連企業の誘致に向け、部局の垣根を越えた体制を構築する方針を明らかにした。半導体大手が周辺に進出する熊本市の取り組みを参考に、外国人技術者と家族の受け入れ環境整備、交通渋滞対策、産業用地の確保などについて検討する見通し。

宮城県との関係について

野田 再開発補助金など、県は、政令市の権能を逆手に取って、仙台市民、市内企業に差別的な扱いをするケースがあり、実質的な税負担が大きい仙台市民にもっと還元すべきだといった指摘があった。この点について、県は仙台市民、市内企業にも他地域と同様のサービスを提供すべきとの考えはないか伺う。

答弁 県が全域に係る施策を実施する上では、納税者への還元の観点も踏まえながら、各市町村で格差のない均衡な行政サービスを提供すべきと考えており、これまでも県に働き掛けを行ってきた。

野田 仙台一極集中は進み、県の人口減少は加速し村井知事が就任した平成17年から10万人近く減少した。

一方、仙台市は、平成17年の100万3千人余から109万7千人余と、逆に10万人近く増加している。仙台市は既に宮城県の人口の48%を占めており、2030年頃には仙台市の人口が宮城県の人口の半数を上回る、つまり県民の2人に1人が仙台市民になると想定される。

県の超過課税を支え、富県宮城を支えているのは、実際のところ仙台市民なのだ。この件に関しては如何か。

答弁 行政運営の基盤である税収において、県内における本市割合は既に過半を超え

ており、2030年頃には人口でも50%を超える。意味する重さを十分に踏まえなければならない。市政が新たな状況を迎えるという中であって、地域の中核都市として本市が果たす役割は、ますます高まるものと考えており、こうした行政環境の変化を県・市それぞれが理解をし、適切な役割を果たしていくことが重要となっていく。

野田 政令市移行直後の職員は、政令市としての仙台の在り方について、今より強い意識を持っていたように感じる。職員には、もっと気概を持って東北のリーダーとしての仙台の在り方を考えていただきたい。そして、市長がその先頭に立ち、新たな仙台を切り開いていく、そのことをぜひお願いしたい。

郡市長の意気込みを最後に伺う。

答弁 全ての職員には、本市の行政課題について、地域をリードする先取りした視点を持ち、各般の施策に長期的な視座を持ちながら取り組むことが必要で、その姿、姿勢が、宮城県、ひいては東北地方の活性化につながるものと認識をしている。

今後も、大都市としての圏域全体の発展、活性化の牽引役を担うという自覚の下、東北各地域と主体的な連携を進めながら、地域全体の持続的発展を実現していく考えだ。

野田ゆずる 予算等審査特別委員会質問及び総括質疑

●中央卸売市場再整備に関し、今年度再整備に関する経費の内訳、スケジュール、基本計画の内容。

●市場の再整備に関し、生産者・消費者ニーズに対応し、新しい価値や魅力を提供できる市場となることを期待したい。

●物流業界の2024年問題に関し、市民や市内企業、市役所業務に与える影響。物流の安定には道路整備も欠かせないことから、本市の道路整備も進めていただきたい。

●教育委員会が導入予定の集金アプリに関し、新たな保護者負担を求める場合は、市民の声に耳を傾けるべきだと強調し、説明会やパブリックコメントを求める総括質疑を行い、新年度当初の導入は見送りとなりました。

2024年3月河北新報朝刊に掲載

仙台市教委小中の集金アプリ

新年度当初導入見送り

仙台市立の小学校全182校に2024年度導入予定の「集金アプリ」で保護者に決着手数料の負担が生じる問題で、市教委は12日、年度当初の導入を見送る方針を明らかにした。保護者に理解を求める機会の確保が必要と判断した。導入時期は現時点で未定。市議会が月定例会予算等審査特別委員会で、総括質疑に立った野田議員（自由民主党）は学校を通じてアプリ導入は教職員集

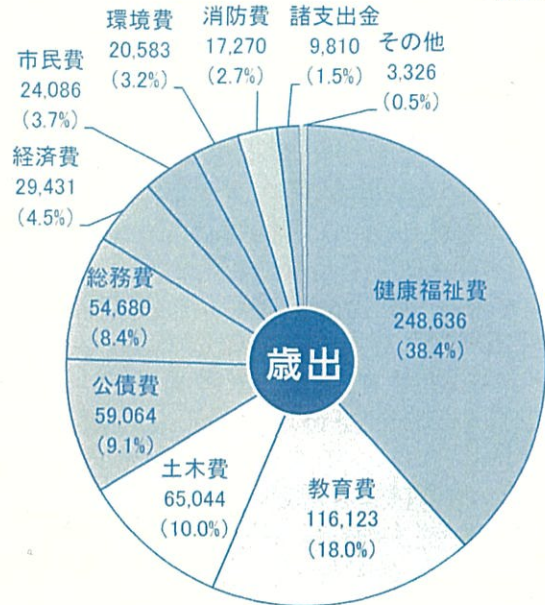
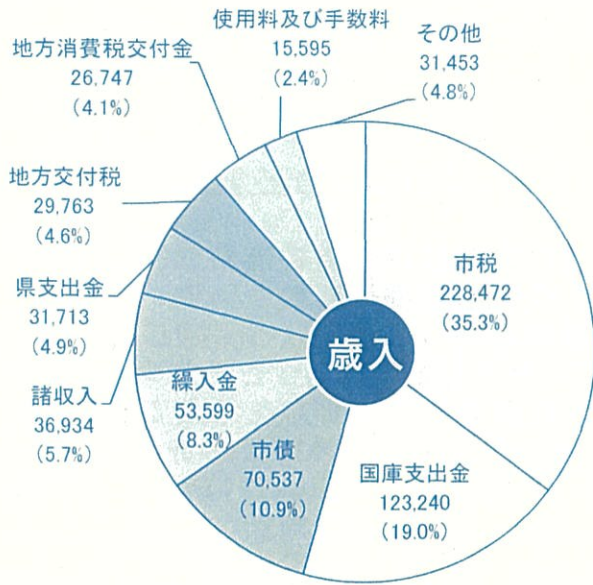
リント1校で保護者に周知した方法を批判。「新たな負担を求める場合、市民の声を傾けながら進めるべきだ」と強調し、説明会やパブリックコメント（意見公募）の実施を求めた。福田洋之教育長は「保護者への説明が足りず、理解を得られていないことを重く受け止める。負担軽減の可能性を整理し、丁寧な説明に努める」と答えた。

金業務の負担を軽減する働き方改革の一環で、市は24年度一般会計当初予算案にアプリ利用料2500万円を計上した。教材費などの学校納付金を支払うたび、200〜320円程度の手数料が生じるため、保護者間で戸惑いや反発が広がっている。

令和6年予算の内訳

(単位:百万円)

(単位:百万円)



●総額(全会計)の推移

○一般会計・特別会計・企業会計を合計した市全体の予算は、前年度比345億円増加の1兆2,236億円となった。一般会

計では、保育施設等への給付費や学校建設費等の増加などにより、前年度比334億円増の6,481億円と、過去最大規模となった。

○特別会計は、公債管理特別会計における公債費の減少等により23億円減少。

○企業会計は、高速鉄道事業における建設改良費の増加等により34億円増加。

●歳入予算額の推移

○市税は、土地に係る評価替えによる固定資産税の増加などにより、前年度に比べて18億円増加。

○国庫支出金は、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の増加などにより、前年度に比べて27億円増加。

●歳出予算額の推移

○教育費は、小中学校の施設整備費の増加などにより、前年度に比べて112億円の増加。

○総務費は、定額減税補足給付金の実施などにより、前年度に比べて96億円の増加。

郵便はがき

9 8 1 - 3 1 9 0

(受取人)
泉区上谷刈3丁目7-29
D棟103

仙台市議会議員(泉区)
野田 ゆずる 行

料金受取人払郵便

泉 局
承 認
3062

差し出し有効期間
2025年
4月30日まで

切手不要

あなたの声をお聞かせくださいお聞かせください



お名前	フリガナ	生年月日
ご住所	〒□□□□□□	
電話番号	()	ご職業
アンケート	あなたが重視する、仙台市政の課題は何でしょうか?(複数回答可) <input checked="" type="checkbox"/> 安心・安全の防災対策 <input checked="" type="checkbox"/> 価格高騰への支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援・教育の充実 <input checked="" type="checkbox"/> 行財政改革・議会の活性化 <input checked="" type="checkbox"/> 福祉・介護の充実と弱者支援 <input checked="" type="checkbox"/> 国土強靱化・インフラ整備 <input checked="" type="checkbox"/> 地元経済の活性化 <input checked="" type="checkbox"/> 4病院再編への対応	
ご意見		

皆様からご記入いただきました個人データは「野田ゆずる議会報告」等の連絡などに使用しそれ以外の使用はいたしません。

声をお聞かせください

仙台市や地域に思う事や、行政や国に対して思う事など皆様のお考えをお聞かせください。左記のハガキにお書きいただき、お近くのポストにご投函お願い致します。